

令和3年度第2回代表幹事会議事録

【日 時】 令和4年(2022年)2月26日(土) 13:00 ~ 15:00

【場 所】 Zoom 会議

【出席者】 役員：佐藤会長、三澤幹事長兼副会長、久保田副会長、小松副会長、太田副会長、衣袋副会長

代表幹事：小林会計委員長、佐原サイト管理委員長、森本総会指導委員長、脇川財政委員長、
仁科渉外委員長、戸田広報委員長

松沢第55回実行委員長、濱名誉会長、巢山名誉顧問、百瀬総務委員長兼幹事長補佐 計16名参加

議事進行：運営細則第5条総務委員会第1項に基づき、百瀬総務委員長兼幹事長補佐が第二回代表幹事会議題にそって議事進行を行った。

1. 令和4年度役員改選について

・ 三澤幹事長より会長・副会長の選任候補について、百瀬幹事長補佐より各委員会委員長・委員の候補者選任について、令和4年度役員名簿案に基づき説明した。

・ 質疑応答後、以下の内容を全会一致で承認した。

① 会長・副会長候補の選任

会長：久保田(高18)

副会長：三澤(高18) 山岸(高21) 小松(高23) 太田(高26) 衣袋(高27) 百瀬(高27)

➔ ✓ 3月の合同幹事会に報告後、6月の東京同窓会総会に諮り承認手続きを取る。

✓ 2年後の役員選任時まで、副会長の職務を再確認し人数削減を検討する。

② 幹事長、代表幹事(各委員会の委員長)、会計、監事、事務局長、各委員会の委員の選任(添付資料参照)

➔ ✓ 財政委員を出来るだけ早く選任できるよう候補者を探す。

✓ 協力回期幹事には、定例の合同幹事会の案内は送らないが、イベントなどが有る都度、声を掛けて時間が有る方に参加してもらえよう依頼する。

✓ 6年委員会の高45回以降のメンバーが決まっていないので、次期委員長にも依頼し、若い人が気軽に参加できるような環境作りをしていきながら候補者を探していく。

✓ 副会長の人数削減検討に合わせ、幹事長&幹事長補佐体制も再検討する。

2. 会報あがたの台割案変更について(戸田広報委員長より説明)

・ 戸田広報委員長より、別添資料に基づき、1月の合同幹事会で承認後の変更点(総ページ数を12ページから16ページに変更)について説明した。

・ 審議後、全会一致で承認した。

➔ 本日の承認で会報あがたの準備を進める。

➔ 3月の合同幹事会にて再説明して事後承認を取ることとした。

3. 第55回総会・懇親会の準備状況について

・ 森本総会指導委員長、松沢実行委員長より添付資料に基づき報告

-実行委員会の思い 「会うことにこだわりたい」 開催可否を4月上旬には決定し、コロナの状況で

6月の開催が難しいと判断された場合にも期日の延期は考えない。

- 会場費も込みとなったプランで、富士の間コロナ対応 25卓×6人/卓=150人開催をめざしたい
 - サブ会場も検討し、150人を超えた場合は予めルールを設けてサブ会場に案内することも考える。
 - 酒の持込みはしない。(飲み放題付であり、持込み料の3万円および調達費削減)
 - 引継ぎ会は会場では行わず、別途考える。
 - 参加意向を早めに把握するため、返信ハガキ(HPも)では締め切りを2段階設定する。
 - 僚友校には早めに、今年もご招待は遠慮させて頂く旨通知する。
 - 来賓若干名の上京について検討する。
 - 総会・懇親会の会費払込みを、当日持参のみとしたい。
 - 松本との繋ぎは欲しい。実行委員会松本の小林さんとの連携。TV松本にも協力をお願いする? 恩師オンラインできるか。
 - ・サブ会場に回る方もありうるということだが、同期はできるだけ一緒に参加したいもの。同期で幹事を決めて、その代表者が同期をまとめて申し込みができるような方法も考えられないか。という意見があった。ハガキではなかなか対応が難しいと思うが、ネットでの申し込みにおいては工夫できるかもしれないので、検討する。
- ➡準備方針については、全会一致で承認した。3月の合同幹事会に向けて準備を進めて行く。

4. 総務委員会から

- ・百瀬総務委員長から、3月の合同幹事会に向けて、各委員長に「令和3年度の事業実施状況と決算の報告」「令和4年度の事業計画案の詳細と予算案」の提出依頼を近く行うとの報告があった。

5.100周年記念事業について

- ・縣陵創立100周年記念事業趣意書(添付資料)が発信された旨の報告が三澤幹事長から有った。

6.その他

- ・次回の合同幹事会の予定 3月26日(土)10-12時 とすることを決定した。

以上